

地区の取り組みを紹介します！

令和7年3月14日
第6号
阿見町防災危機管理課
☎029-888-1111(内線277)

あみ防災だより

阿見町防災アドバイザー連絡会を開催しました

令和7年1月18日(土)吉原交流センターにて阿見町防災アドバイザー連絡会を開催し、防災アドバイザー14名が参加しました。

連絡会では、今年度の防災アドバイザーの活動について報告を行い、実際に活動し感じたことや改善事項等について町職員含め意見交換しました。

その後、防災アドバイザー連絡会小林会長を中心に、今後の防災アドバイザーの役割や将来のビジョンについて意見を交わしたことで、今後の防災アドバイザーについての認識を共有しました。

これからも阿見町防災アドバイザー連絡会の活動を紹介していきます！



【写真左】
令和6年度の活動状況を報告する様子

【写真右】
連絡会で意見を述べる様子



1月末までに3地区が防災まち歩きを行い地区防災計画作成に寄与しました。



【写真左】
下小池防災訓練見学の様子(活動紹介)



下小池 防災訓練

令和6年12月1日(日)下小池田園都市センターにて、防災訓練を実施しました。避難訓練(安否確認訓練)、水消火器を使用した初期消火訓練、土嚢作成訓練、非常食炊き出し訓練を実施し、子どもを含めた約40名の住民が参加しました。

土嚢作成訓練では、消防署員から土嚢袋の結び方や土嚢の並べ方を学び、多くの住民が汗を流しながら訓練していました。

非常食炊き出し訓練では、お湯で戻して食べる非常食「アルファ化米」を初めて食べる住民が多く、非常食を食べる良い機会となりました。



【写真上】土嚢作成訓練の様子

【写真下】初期消火訓練の様子



町の防災備蓄食料を訓練啓発品として地区へお渡しできる場合がありますので、ご要望があれば町へご相談ください。



岡山 防災訓練 東条

令和7年1月19日(日)岡山公民館にて、防災訓練を実施しました。町防災危機管理課職員による防災講話、救急訓練、炊き出し訓練、防災資機材の動作点検を実施し、子どもを含めた約60名の住民が参加しました。

救急訓練では阿見消防署職員指導のもと、胸骨圧迫やAEDの取り扱いについて、繰り返し練習し積極的に取り組んでいました。

また、炊き出し訓練では、和やかな雰囲気の中でおにぎりや豚汁、ホットケーキミックスを使ったオリジナル蒸しパンを調理していました。

自主防災組織代表者の佐野さんは「防災訓練により、防災意識を毎年少しずつ蓄積している。これを継続して知識及び技能のスキルアップさせていきたい。」と述べていました。



【写真上】救急訓練の様子

【写真下】オリジナル蒸しパンが完成



防災コラム ～感震ブレーカーで火災のリスクを減らそう！～

阪神・淡路大震災や東日本大震災で出火原因が特定されたもののうち約6割が電気火災でした。



電気火災ってなんだろう？

電気火災とは、地震の揺れに伴う電気機器からの出火や停電が復旧した時に発生する火災のことです。



感震ブレーカーってなんだろう？

感震ブレーカーとは震度5強相当の地震を感知して自動的に電気を遮断する装置です。

様々な製品のタイプがあるので、製品ごとの特徴・注意点をご確認の上、適切に設置しましょう。

電気火災の事例



タイプ	コンセント型		簡易型	分電盤型	
	特定機器遮断型	一括遮断型		内蔵型	後付型
イメージ					
遮断範囲	選択した機器のみ		屋内全ての電気供給		
設置工事	不要	必要	不要		必要
遮断までの時間	なし	あり・なし ※製品によって異なる		あり(3分程度)	

今後、感震ブレーカーの設置を進め、消火器の設置などの初期消火対策を進めることで、東京都では地震による火災被害を約7割減少させることが可能と推計しています。出火防止や初期消火対策等を実施して、いざという時に備えましょう！

